

## 情報保障者支援 ～情報保障者支援システムの活用～

2010年度、本学には2名の聴覚障がい学生が在籍しており、学外派遣による手話通訳と、「情報保障支援学生団体 てくてく」によるパソコンノートテイクおよびノートテイクを中心に情報保障活動を行っている。「てくてく」の活動においては、情報保障者支援システムを利用して、円滑な連絡をサポートし、各種情報を一元管理することでコーディネーターの負担を軽減している。また、パソコンノートテイク練習サイトを現在構築しており、Webサイト上でパソコンノートテイクの練習を行うことで、情報保障の質の向上を目指している。

## 情報保障者支援システム

このシステムは、数年前から利用している「出欠連絡ツール」を拡張したシステムで、支援者・聴覚障がい学生は、出欠情報だけでなく、授業関連の共有すべき情報などを管理サーバに携帯端末からアクセスする事で登録を行い、情報保障活動をサポートしている。

### ・聴覚障がい学生欠席連絡・休講連絡

聴覚障がい学生が講義を欠席する場合や、講義が休講になった場合、欠席・休講連絡を行うと、関係する支援者、コーディネーターにメールが配信される。

### ・支援者欠席連絡・代理募集

支援者が何らかの理由で出席できなくなってしまう場合、欠席連絡を行うと自動的にその講義の関係者(聴覚障がい学生・支援者のパートナー)およびコーディネーターにその旨の連絡のメールが配信されると同時に、交代を募集するメールが全支援者に配信される。

### ・支援者シフト調整支援

支援者は個人ページにおいて、担当可能時間や保障スキル等の支援情報を登録する。

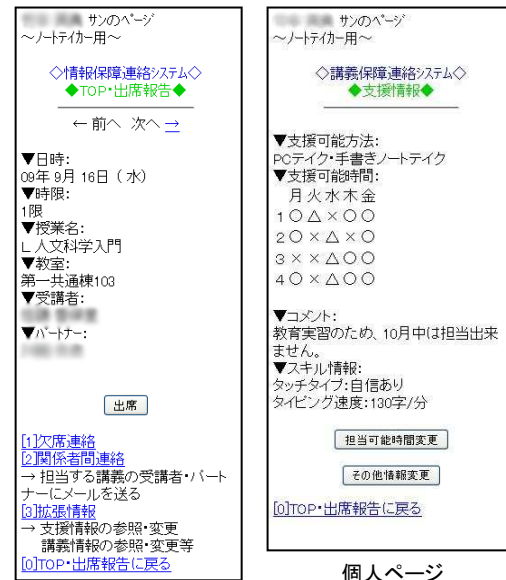
また、上記ツールにて各支援者ごとの経験量や誰とパートナーを組んだことがあるかなどを蓄積しており、これらの情報を併せて、最適な支援者の配置をアシストし、コーディネーターの負担を軽減している。

### ・関係者間連絡支援

支援者が担当する講義の関係者(聴覚障がい学生・支援者のパートナー)に連絡をしたい場合、連絡を行いたい講義を選択し、メッセージを入力すると、そのメッセージが関係者にメール配信される。これにより、個人のメールアドレスを公開することなく連絡を取ることができる。

### ・情報保障記録の蓄積

毎回の講義ごとにそこでの情報保障支援の記録や、講義担当教員などへの要望を入力できるページを設けている。ここに入力した内容は、コーディネーターおよび支援者が閲覧可能となっており、支援者間の引き継ぎなどに役立っている。



出席報告ページ

個人ページ

## パソコンノートテイク練習サイト

パソコンタイパーの養成(特に、新規登録者の養成用)の為にWebサイトを現在構築している。いままでは、支援者が集まって練習を行ってきたが、登録している支援者が70名を超えた事もあり、個人個人の練習の必要性が高まってきた。そこで、次のようなツールを中心とした練習サイトの構築を現在行っている。

### ・連携入力疑似体験ツール

初めてパソコンノートテイクを行う際に最も戸惑うのが連携入力である。そこで、実際に連携して入力した記録を一方のみ再現することで、疑似的に連携入力の体験ができるようにする。これにより、事前にイメージをつかみ、戸惑いなく連携入力を行うことができることを期待している。

### ・音声タイピング練習ツール

通常タイピングの練習には、用意した原稿を見ながら入力するという方法が一般的である。しかし、情報保障を経験した支援者からは、「音声を聞きながら入力するのは、原稿を見ながら入力するのとは全く異なり、慣れるのが大変だった」という声が聞かれた。そこで、速度の異なる音声ファイルを用意し、音声を聞きながらタイピングの練習を行うことができるようにする。

## 課題

更に汎用性を持たせるための各種設定項目の検討や、フレームワークを利用した再構築を行っていきたい。

### 問い合わせ先

愛知教育大学 情報保障支援学生団体「てくてく」 連絡先 (e-mail: tekuteku@t.ics.aichi-edu.ac.jp)